

納め札



次の日ぐらいをイメージした旅程のあたりにかんばん。もちろん当日も可。



37番岩本寺は、女性の住職だった。宿坊だがご馳走が多かった。この方が、寺を建て直したといわれていた。



ここも評判の遍路宿だ。ネットで「久百々」のホームページがある。朝、出発前の頃、甘いものなど日頃みたこともないような、子供用のお菓子の詰め合わせを持って帰ってきた。遍路道の峠で楽しんだ。いろいろな袋小物も、朝の食卓にでた。



58番仙遊寺。大きい宿坊があった。



精進料理のご馳走。それでも歩き遍路は、
ご飯のお代わりを2～3杯する。



トイレの驚いた。便器の蓋、便座など
すべて電動スイッチ操作。



60番横峰寺の麓のビジネス旅館。四国を歩き始めておおよそ一ヶ月。お魚の国で出会った、お肉屋さん経営の遍路宿で、みんな嬉しそうにしていた。



民宿の雰囲気。着くと布団が用意してある。
2~3を除く、つまり9割は清潔であった。



歩き座禅食事も含めてほとんど不服はなかった。
洗濯機も十分借りられた。

